

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	多久市立東原庫舎西溪校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を持つ児童生徒の割合が目標80%に達することが出来なかった。自己肯定感もたせていくために、学年の実態に応じた個々の出番の設定と成功体験の実現・承認の機会設定の場を設けるようにする。 前期課程への後期からの乗り入れ授業が進み、5・6年で教科担任制が進んだ。子どもと職員が係わる時間の確保を図っていくため、義務教育学校の特長を生かしながら業務改善をさらに進めたり、職員の意識改革を図ったりしていく。 特別支援学級在籍が20%を超え、一人ひとりにあう指導に取り組んだ。さらに特別支援学級や配慮を要する児童生徒への理解を深めるために、インクルーシブ教育の充実を図ったり、計画的な職員研修の機会を設けたりして、共通理解を図る。
------------------	---

2 学校教育目標	志をもち、自ら学び、共に高め合い たくましく生きぬく西溪っ子の育成
----------	-----------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①「チーム西溪」として義務教育学校教職員の協働力・同僚性の推進発揮。 ②「主体的・対話的で深い学び」による学力向上の推進と基盤となる学習規律の徹底。「あくしゅタイム」の推進充実。 ③郷土に誇りを持ち、自己肯定感を高める教育の充実。いじめ未然防止、早期発見・早期対応、再発防止の取組強化。 ④開発的・予防的生徒指導の充実。インクルーシブ教育の理念に基づく特別支援教育の充実。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・学力向上対策シートを用いた校内研修で、課題を職員間で共有し、課題解決への共通した取り組みを考案し、実践する。							全職員 (綾部、山口)
	○主体的・対話的で深い学びを意識した授業実践 ○学習規律の徹底	○「あくしゅタイム」(わらいに迫る交流の場)で、考えを深めたり広げたりすることができたと回答した児童生徒90%以上 ○授業の始まり、立腰、学習用具の準備等々学習に向かう構えができたと回答する児童生徒85%以上	・全教師が明確な意図を持って「あくしゅタイム」を設定し、その目的と評価を児童生徒に明示することで、「あくしゅタイム」の意義を児童生徒が感じられるようにする。 ・生徒指導部とも連携し、全職員が同じ指導を行うことで学習規律を徹底させる。							校内研究部 (卯津江、末次)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●アンケートで「学校は心の教育に積極的に取り組んでいる」と回答した保護者が90%以上	・道徳教育に全ての教育活動を通して取り組む。特に、道徳科の授業において、「考え議論する道徳」を実践し、児童生徒の道徳性の涵養を目指す。家庭、地域と連携して道徳教育に取り組む。							特別活動部 (荒木、村山)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教員が90%以上	・月に1回生活調査(あくしゅ)アンケートを行い、いじめの早期発見に取り組む。 ・生徒指導協議会において、全職員で共通理解を図り、開発的・予防的な生徒指導を行う。							生徒指導部 (田中、高津)
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●元気のよい挨拶ができていると回答した児童生徒80%以上 ●早寝・早起き・朝ごはんの望ましい生活習慣ができていると回答した児童生徒80%以上	・学級活動や保健だよりの発行等で、児童生徒の啓発を行う。 ・西溪委員会によるあいさつの励行を推進する。 ・生活図書委員会の取り組みで、学年ごとに挨拶運動を行い、西溪校を中心とした声かけに取り組む。							生徒指導部 (市丸、永松)
	○安全に関する資質・能力の育成	○児童生徒や教員の交通事故、生活事故の発生件数0(ゼロ)	・集団登校を月1回行い、その実施における登下校の安全確認に取り組む。 ・交通安全教室の実施により、自転車の扱いなどへの注意喚起を行う。							生徒指導部 (田中、高津)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限45時間以内の遵守 ●ライフワークバランスを意識した働き方ができたと回答する教員が90%以上	・ペーパーレス会議の推進。(3日前迄のアップ) ・会議の開始時刻、終了時刻の徹底(会議時間60分) ・施設時刻の設定と徹底(行事黒板で周知) ・定時退勤日の徹底(前期:金曜日、後期:水曜日) ・電話対応時間(朝:7:30～、夕:部活終了後30分迄)							管理職 (副校長、教頭)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の資質向上と支援体制の構築	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答する教員90%以上 ○組織的・機能的な研修会やケース会議等を年間3回以上実施	・校内特別支援教育ミニ研修会を各学期に1回ずつ実施する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に必要に応じてケース会議を実施し、校内支援体制の充実を図る。							生徒指導部 (坂本、富増)

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--